

春の夕暮

中原中也

青空文庫

塗板がセンベイ食べて

春の日の夕暮は静かです

アンダースロウされた灰が蒼ざめて

春の日の夕暮は穏かです

あゝ、案山子はなきか——あるまい

馬嘶くか——嘶きもしまい

たゞたゞ青色の月の光のノメランとするまゝに

従順なのは春の日の夕暮か

ポトポトと臘涙に野の中の伽藍は赤く

荷馬車の車、油を失ひ

私が歴史的現在に物を言へば

嘲る嘲る空と山とが

瓦が一枚はぐれました

春の日の夕暮はこれから無言ながら

前進します

自らの静脈管の中へです

青空文庫情報

底本：「新編中原中也全集 第二巻 詩※」[#ローマ数字2、1-1
3-22] 角川書店

2001（平成13）年4月30日初版発行

※底本のテキストは、著者自筆稿によります。

※（）内の編者によるルビは省略しました。

入力：村松洋一

校正：hitsuji

2020年3月28日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫(<https://www.aozora.gr.jp/>)で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

春の夕暮

中原中也

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>